



6年生が修学旅行に行ってきました。

11月9日（木）、10日（金）の2日間、6年生は京都方面へ1泊2日の修学旅行に行ってきました。2日目は雨に降られましたが、1日目は秋晴れで天候も良く、銀閣寺 ⇒ 二条城 ⇒ 八つ橋庵とししゅうやかた（昼食・買い物）⇒ 伏見稻荷大社 ⇒ 旅館元奈古（宿泊）⇒ 二年坂・三年坂（散策・買い物）⇒ 清水寺 ⇒ 金閣寺 ⇒ 立命館大学国際平和ミュージアム ⇒ 三木半旅館（昼食お弁当）⇒ 大徳寺・大仙院（座禅体験）の順で予定通り訪問することができました。今回はその一部を紹介したいと思います（裏面に続きます）。

<出発式>

バスの車内で出発式を行いました。代表からは「ルールやマナーを守って、なかまとの楽しい思い出をつくりましょう」といった話があり、私からは、ただ一つ『全員が体調を崩すことなく健康で元気に戻って来られるように』という話をしました。



<銀閣寺（1番目）>

銀閣寺は、正しくは、東山慈照寺（とうざんじしょうじ）と言い、室町幕府八代将軍の足利義政によって建てられたといわれています。江戸時代になってから、金閣寺に対し、銀閣寺と称せられることになったそうです。境内庭園は、白砂の向月台（こうげつだい）、多くの草木や山水があり、コントラストがとてもきれいでした。子どもたちは、立ち止まって写真を撮ったり、移動して景色を眺めたりしていました。

<二条城（2番目）>

門が金色に輝き、とても優雅で素敵でした。建物の中を歩いている時に「きゅっきゅっ」とウグイス張りの音がして、江戸時代の人たちの暮らしの工夫が感じられました（長い年月が経ち、金具が緩んだことが原因との説もあります）。二条城では、建物をバックに学級ごとに記念の集合写真を撮りました。



<八つ橋庵とししゅうやかた（昼食・買い物）>

到着すると、昼食をとる前に、お土産を選びました。10%割引の券をもらい、買い物かごを持って、持ちきれないほどお土産を買い込んでいる人もいて、みんな楽しそうに話をしながら買い物を進めていました。昼食のメニューは「カツカレー」でした。代表の子の「いただきます」の言葉に続いて食べ始め、大きなカツをペロッと平らげていました。



<伏見稻荷大社（3番目）>

赤い鳥居がたくさんあって（千本鳥居と言われています）、その中をどんどん歩いていきました。外国からの観光客もたくさんいて、「ハロー」と声をかけあっていました。「おもかる石」もあげてみました。願いを唱え「おもかる石」をあげて、予想より軽ければ願いが叶うのだそうです。軽々と持ち上げている子や全然持ち上げられない子がいました。

<二年坂・三年坂（4番目）>

二年坂は、約150mの坂道です。二年坂の南端、階段を上った先にある約100mの坂道が三年坂とよばれています。坂道には古きよき日本の街並みが続いていて、坂を上っていくと清水寺のメイン参道となる清水坂へと通じています。修学旅行1日目は、多くの観光客、修学旅行生で賑わっていて、散策中、途中ではぐれ、他の班の子と一緒に行動をした子もいたようです。通りにはたくさんのお土産店が並んでいて、お土産をどれにしようかと、目移りしてしまっている子もいたようでした。

<旅館「元奈古」（宿泊）>

道路の渋滞もなく、スムーズに1日目の行程を終えることができました。入館式では、宿泊所代表者からのお話を聞き、その後各部屋へと入りました。夕食は「とんかつ、お魚の刺身、茶そば、湯豆腐、生ゆば」の豪華な料理で、みんな顔をほころばせて食べていました。「おいしいし、もう帰りたくないなあ」と言っている子もいました。旅館の従業員の方に、お部屋に食事を配膳していただきました。女子は小ぢん

まりと集まり、夕食中、普段なかなか話せないような会話をしていたようで、いわゆる女子会のようなものでした。夕食後は順番に入浴をし、部屋で自由時間を過ごし、21時半頃に消灯、就寝をしました。

2日目は、5時45分に起床して身支度を済ませ、清水寺へと向かいました。みんなと夜、一緒に寝ることに慣れていないので、なかなか寝付けなかった子もいたようで、もう一度布団に入ろうとした子もいました。清水寺を見学してから、旅館に戻り、朝食を取りました。なかまと一緒に食べる夕食や朝食、各部屋での時間は、本当に楽しく充実した時間となったようでした。出発時には、



<清水寺（5番目）>

清水寺には旅館から歩いて向かいました。雨の天候で観光客も少なく、ゆったりと境内からの景色を楽しむことができました。清水寺の本堂からの眺めは最高で、よくテレビ画面に出てくる光景が、そのまま目の前に広がっているようでした。音羽の滝では、手を伸ばしてひしゃくで水をすくい、手を洗いました。清水寺の寺名の由来となった清水の湧き出す滝で、3本の笕（かけい）に分かれていて、「延命長寿」「恋愛成就」「学業成就」のご利益があるとされています。こんなにも朝早く起きて、京都の街並みを歩いたこともきっと思い出になったことと思います。

<金閣寺（6番目）>

金閣寺は、建物の内外に金箔が貼られていることから通称「金閣寺」と呼ばれていて、室町幕府三代将軍の足利義満によって建てられたといわれています。当日はたくさんの旅行客（外国人観光客・修学旅行生）がいて、はぐれないように集団で移動しました。雨天でもあり、ゆっくりと立ち止まって観ることはできませんでしたが、全面金箔貼りの金閣寺がしっとりと雨に濡れて、本当にきれいでした。

<立命館大学国際平和ミュージアム（7番目）>

「平和な世界って、どんな世界?」「平和な世界って、誰がつくるの?」といったことについて考えました。これまでの歴史的な戦争の経緯、反戦運動で声をあげた人々、植民地・占領地等について、心に残ったところをワークシートに書き留めていました。「問いかけひろば」があって、タブレットを使って自分のメッセージを打ち込むコーナーがありました。「武器のない世界にする」といった自分の考えをメッセージとしてあげている子がいました。



<大徳寺・大仙院（座禅体験）（8番目）>

大徳寺・大仙院では、最初に座禅体験をしました。向かい合わせに座って靴下を脱ぎ、あぐらをかいて両手を少し開いてお腹の前でゆびを合わせます。そして背筋をまっすぐにして姿勢を取りました。姿勢が崩れると和尚（おしょう）さんから木の棒で「ピシャン」とたたかれます。和尚さんの足がとまり、たたかれる時には胸の前で両手を合わせて合掌をし、全身を低くして背中をたたいてもらいます。あちらこちらで「ピシャン」という音がしていました。最後は静寂（せいじゃく）な時間が流れていました。約30分間でしたが普段の学校生活ではなかなかできない、いい体験をさせていただきました。

座禅体験の後は和尚さんから訓話をいただきました。「学ぶ（勉強する）ことの大切さ」「ひとにやさしく穏やかに接することの大切さ」「学校でなかまと過ごすことの大切さ」等について教えていただきました。また『今こそ出発点』という文章を和尚さんの読み上げに続いてみんなで声を出して読みました（後に記述）。その後、抹茶体験をしました。抹茶をいただくときの作法についても教えていただきました。

<解散式>

バスの車内で解散式を行いました。『全員が健康で無事に帰ってくることができたこと』が何よりもよかったと思います。修学旅行の2日間を通し、なかまと寝食を共にし、一緒に行動することで、お互いの絆が深まったのではないかと思います。この2日間のことを、いい思い出として大切にしてください。

保護者の皆様、子どもたちの送迎へのご協力、本当にありがとうございました。心から感謝いたします。

『今こそ出発点』 修学旅行で和尚さんといっしょに唱えた言葉

| | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 人生とは毎日が訓練である | わたくし自身の訓練の場である | 失敗もできる訓練の場である |
| 生きているを喜ぶ訓練の場である | 今この幸せを喜ぶこともなく | いつどこで幸せになれるか |
| この喜びをもとに全力で進めよう | わたくし自身の将来は | 今この瞬間ここにある |
| 今ここで頑張らずにいつ頑張る | | (京都大仙院 尾関 宋園) |

(文責 北住 昌文)